

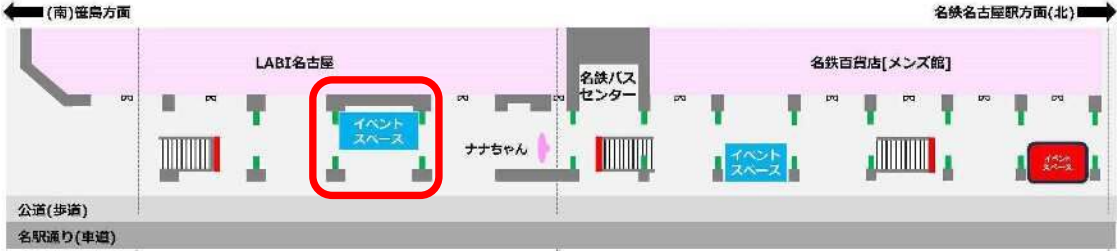


幹部会資料
令和7年9月29日
市長室

事項	市長定例記者会見の開催曜日の変更について
内容	現在、原則、毎週月曜日10時30分から開催している市長定例記者会見について、職員の働き方改革を推進するため、開催曜日を変更いたします。 1 変更後の日程 原則、毎週水曜日 (開催時間(10時30分～)は従前通りです。) 2 今後の予定 令和8年1月に開催する定例記者会見より、曜日を変更する予定です。
備考	

(広報課 内線 3136)



事項	エスカレーターの安全利用促進キャンペーンの実施について
内容	令和5年10月1日に「名古屋市エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が施行されて2年を迎えるにあたり、市民にエスカレーターの安全利用を呼び掛けるキャンペーンを実施しますので、お知らせいたします。 記 1 キャンペーン (1) 日 時 令和7年10月15日（水）8:30～9:00 (2) 場 所 オープニング ナナちゃんステージ前イベントスペース（中村区名駅一丁目2番5号） 啓発活動 JR名古屋駅桜通口前（中村区名駅一丁目1番）他 
容 容	(3) 主な参加者 市長、スポーツ市民局長、交通局長、交通局東山線駅務区長、JR名古屋駅駅長、名古屋鉄道（株）名古屋幹事駅長、近鉄名古屋駅駅長、一般社団法人日本エレベーター協会東海支部支部長、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部、なごやか立ち止まり隊 (4) 内 容 ナナちゃんストリートにおいてオープニングを行った後、JR名古屋駅桜通口前等において、エスカレーターの安全利用を呼び掛ける啓発活動を行います。

2 なごやか立ち止まり隊

エスカレーターの右側に立ち止まって乗ることで、利用者に対して、立ち止まりを啓発します。

- (1) 活動期間 10月15日(水)～10月31日(金)
(うち8日間)
- (2) 活動場所 地下鉄各駅(名古屋・栄・金山など)
JR名古屋駅、名鉄名古屋駅



3 エスカレーターの利用実態について

令和7年6月から7月に、エスカレーターの利用実態に関する調査を実施しました。調査の結果、歩いたり走ったりして利用する割合は4.7%であり、前回調査の5.2%から0.5ポイント減少しました。市民のみなさまには、エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例にご協力いただき、感謝しております。

しかし、右側に立ち止まって利用する割合は24.0%で、前回調査の23.6%からほぼ横這いであり、引き続き普及啓発に努めてまいります。

<調査概要>

- (1) 調査時期
令和7年6月14日(土曜日)～7月19日(土曜日)
- (2) 調査場所(10か所)
交通機関6か所(市営4か所、民間2か所)、商業施設3か所、公共施設1か所
- (3) 調査方法
- ・1か所あたり4日計測(平日2日、土曜日1日、日曜日・祝日1日)
 - ・1日に朝、昼、夕方、夜の4回計測
 - ・「立ち止まって利用している(左側、中央、右側)」、「歩いて利用している」、「走って利用している」人数を計測
- (4) 調査結果の推移

区 分	令和4年 4～5月	令和5年 6～7月	令和5年 11～12月	令和6年 6～7月	令和6年 11～12月	令和7年 6～7月
立ち止まって 利用	78.7%	84.4%	92.7%	93.3%	94.8%	95.3%
左 側	62.3%	69.7%	72.7%	65.9%	66.7%	68.4%
中 央	8.8%	4.1%	4.2%	3.4%	4.5%	3.0%
右 側	7.6%	10.6%	15.8%	23.9%	23.6%	24.0%
歩いたり走った りして利用	21.3%	15.6%	7.3%	6.7%	5.2%	4.7%

※ 四捨五入により合計が一致しない場合があります。

4 エスカレーター見守り君

キャンペーンの開始に合わせ、AIを活用して、エスカレーター上の歩行者を検知し音声で注意喚起する装置「エスカレーター見守り君」を設置します。(令和5〜6年度に名古屋市で実証実験を実施。)

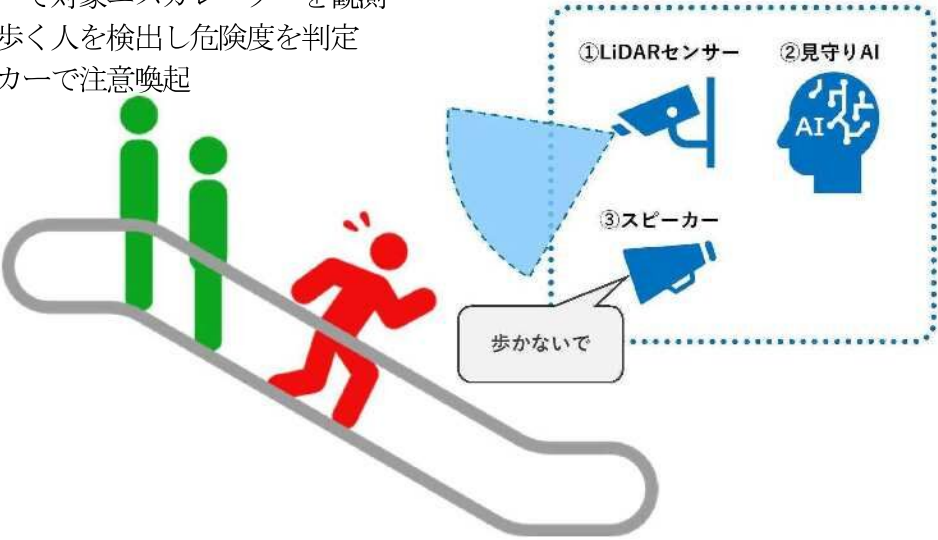
(1) 設置場所

地下鉄名古屋駅エスカレーター1号機



(2) システムのイメージ

- ①センサーで対象エスカレーターを観測
- ②AIで歩く人を検出し危険度を判定
- ③スピーカーで注意喚起



(3) 今後の予定

12月上旬頃から本格稼働 (現在は試運転中)

備考

本件は、本日市政記者クラブへ資料提供します。



事項	経済誌 PRESIDENT「企業誘致特集」の市長インタビュー記事の活用について
内容	1 概要 企業誘致活動を推進するため、経済誌 PRESIDENT の「企業誘致特集」において、名古屋の魅力やビジネス環境等に関する市長のインタビュー記事を掲載しております。 また、当該記事をリプリント（印刷物の一部を抜き出して、表紙を付け別に印刷。別添参照）しましたので、企業訪問等の際に、名古屋のシティセールスを行う資料としてご活用ください。 2 掲載号 令和7年9月12日発売の経済誌 PRESIDENT（令和7年10月3日号） 3 リプリントの活用 経済局にて、企業誘致パンフレット、グッズ等とともに、今回お知らせしたリプリント（印刷したもの）をご用意しておりますので、使用を希望される所属は経済局の担当課までご連絡ください。 また、令和7年4月7日に、幹部会において、企業訪問・企業情報の収集の実施を依頼しておりますので、引き続き積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。 4 その他 リプリントの電子データは市組織内部での閲覧用のものであり、外部配布は禁止されております。外部に配布する際は、必ず担当課が用意しているリプリント（印刷したもの）をご活用ください。
備考	

高度な産業集積、充実の都市機能、ゆとりある生活環境を兼備

独自の優位性を持つ立地環境が 事業創出や変革の原動力に

名古屋市



PRESIDENT2025年10月3日号掲載抜刷



<お問い合わせ先>

名古屋市 経済局 イノベーション推進部 産業立地交流課

TEL.052-972-2423

FAX : 052-972-4135

MAIL : a2423@keizai.city.nagoya.lg.jp



名古屋ビジネス進出サポートサイト
<https://nagoya-potential.jp>



実際、名古屋に拠点を置く企業はその魅力や長所について次のように話す。

「取引先との交流がとてスムーズ。東京・大阪だと躊躇する出張も、名古屋・東京、名古屋・大阪だと気軽に往き来できる」「ものづくりが盛んなので関連する情報が集まってくるのも大きな魅力。また今は、情報発信も東京からでないといけない時代ではない」

「航空・宇宙産業の人材がやはり豊富。エンジニア系から手先が器用な職人までそろっている日本で名古屋くらい」

まさにどれも他の地域ではなかなか得られない独自の特徴といえるだろう。名古屋では地域内外の企業の可能性を広げる取り組みも盛んだ。異業種交流、またスタートアップとの交流を促

名古屋での経営を具体的にイメージできるイベントも

「東海地方全域から学生が集まっているのが特徴で、名古屋大学や名古屋工業大学、名古屋市立大学など、多様な大学が優秀な人材の供給源となっています」

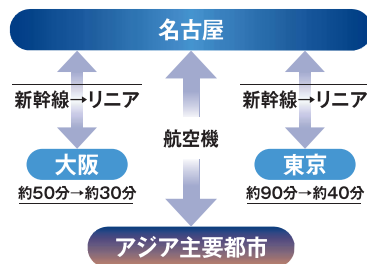
「名古屋は、国内で決して多くないだろう。一方、名古屋地域は人材確保の面でも高いレベルでニーズに対応する。名古屋市内の大学数は19校、学生数は10万人超で、共に20政令指定都市の中で2番目に多い数字だ」

リニア開業で世界にも類を見ないスーパー・メガリージョンが誕生。名古屋の利便性も大きく向上

名古屋を起点とした
2時間以内の交流人口 **約7000万人**



リニア中央新幹線の開業によって品川―大阪間は最速67分でつながり、東京・名古屋・大阪の三大都市が一体となったスーパー・メガリージョンが誕生する。7000万人規模の広域経済圏は世界にも類を見ない。



すイベントが開催され、名古屋市の行政施設などを社会実験のフィールドとして提供する取り組みも行われている。地域に蓄積された技術や知見も活用しながら、イノベーションや新たな事業を創出したい。そうした考えを持つ企業にとっては非常に恵まれた環境だ。そしてこの10月には、名古屋のビジネス環境などを紹介する「名古屋ビジネス進出セミナー」も開催される。最後、広沢市長は次のように呼びかける。「セミナーでは、名古屋での成長戦略や名古屋で暮らすこと、働くことにフォーカスしたパネルディスカッションなどを予定しています。自分たちなら名古屋の環境をどう生かすか。ぜひ、具体的にイメージする機会にしたいです」



名古屋市内では各所で再開発が進行中だ。名古屋駅地区では高層の複合ビルが整備され、高まる企業のオフィス需要に対応する。

名古屋ビジネス進出セミナー

名古屋市の企業の成長や働き方といったテーマで、本市の魅力を多彩な出演者が紹介します。

日時	2025年10月20日(月) 15:00~18:10 (開場 14:30)	会場	ステーションコンファレンス東京 (東京駅日本橋口直結)	定員	200名 (参加無料)+ライブ配信
■ 挨拶・プレゼンテーション 15:00~15:15		■ パネルディスカッション			
名古屋のビジネス環境と今後の展開 名古屋市長 広沢一郎		① 15:40~16:30 名古屋圏の企業の成長戦略			
■ 基調講演 15:15~15:40		② 16:35~17:25 名古屋ならではの「キャリア」も「プライベート」もどちらも諦めない、働き方改革			
名古屋はなし いろいろ 丸紅株式会社 名誉顧問(元会長・社長) 園分 文也氏		■ ビジネス交流会 17:30~18:10 参加者による情報交換会を実施			
申込	NIKKEI event&seminar 日経イベント&セミナー https://events.nikkei.co.jp/75063/				
詳しくはこちら！		お問い合わせ：名古屋進出セミナー事務局 Email: nagoya-city251020@info.email.ne.jp ☎03-3545-1054 (受付時間 10:00~18:00、土・日・祝日を除く)			
(主催) 名古屋市 日本経済新聞社 メディアビジネス					

●お問い合わせ先／名古屋市経済局イノベーション推進部産業立地交流課 ☎052-972-2423 Email: a2423@keizai.city.nagoya.lg.jp
名古屋市長官邸 企業誘致担当 ☎03-3504-1738 Email: a2422@keizai.city.nagoya.lg.jp

名古屋市

高度な産業集積、充実の都市機能、ゆとりある生活環境を兼備

独自の優位性を持つ立地環境が事業創出や変革の原動力に

「リニア開業によって名古屋駅間の移動時間は大幅に短縮される。現在でも東京・大阪への近さを名古屋の利点と評価する企業は多く、そのメリットがさらに向上することになります」と広沢市長は言う。そして次のように続けた。「東京一極集中の是正が叫ばれる中、名古屋の暮らしやすさは今後いっそうクロージアップされるに違いない。東京・大阪と比べて住宅コストが低く、通勤時間も短い。レジャーの場も豊富です。私自身ウインドサーフィンを趣味にしていますが、車で30分ほどの場所です十分楽しめます。社員の方の生活の質を高めることは今や重要な経営課題です。18歳までの医療費の無料化や子どもの居場所づくりなどにも力を注ぐ名古屋は、豊かな生活を送るのにも絶好の場所です」

高度な産業集積、充実の都市機能、ゆとりある生活環境——。確かに

「リニア開業によって名古屋駅間の移動時間は大幅に短縮される。現在でも東京・大阪への近さを名古屋の利点と評価する企業は多く、そのメリットがさらに向上することになります」と広沢市長は言う。そして次のように続けた。「東京一極集中の是正が叫ばれる中、名古屋の暮らしやすさは今後いっそうクロージアップされるに違いない。東京・大阪と比べて住宅コストが低く、通勤時間も短い。レジャーの場も豊富です。私自身ウインドサーフィンを趣味にしていますが、車で30分ほどの場所です十分楽しめます。社員の方の生活の質を高めることは今や重要な経営課題です。18歳までの医療費の無料化や子どもの居場所づくりなどにも力を注ぐ名古屋は、豊かな生活を送るのにも絶好の場所です」

高度な産業集積、充実の都市機能、ゆとりある生活環境——。確かに



広沢一郎 (ひろさわ いちろう)
名古屋市長

1963年生まれ。86年慶應義塾大学経済学部を卒業し、ブラザー工業に入社。マグノリア代表取締役、キングフト代表取締役などを経て、2011年愛知県議会議員、17年名古屋市長、24年より現職。

※1 総務省・経済産業省「経済構造実態調査結果」(2023年)より。 ※2 名古屋税関「管内貿易概況(確々報)」(2024年)より。
※3 文部科学省「学校基本調査」(2024年)より。

事項	女性の健康相談窓口「なごエール」の開始について
内容	1 趣旨 仕事や子育て等で忙しい世代の女性が、自身の抱える健康課題に十分対処できていない現状に鑑み、女性のための健康相談事業を開始します。 幅広い世代の女性の多様な健康課題への対処方法について看護師や助産師等の専門職が助言を行う相談窓口の設置と市民に対する広報・啓発を一体的に実施するものです。 2 内容 (1) 相談 ①電話相談 日中に仕事等がある方も相談しやすいよう、夜間及び日曜に実施 【水曜日】19時～23時 【日曜日】14時～17時 ②オンライン相談 若年者も相談しやすく、電話相談の開設時間以外も対応できるよう、24時間オンラインで相談受け付け 【LINE相談】LINEで友だち追加し、チャットシステムで相談 【フォーム相談（準備中）】ポータルサイトのフォームから相談→メールで返信 ※オンライン相談は受付から24時間以内に回答 <相談例> 貧血、月経痛、肩こり・腰痛、 冷え・むくみ、自律神経の乱れ、 更年期症状（イライラや顔の ほてりなど） など 専門職 が回答 ・日常生活での対処・予防法 ・セルフケアのアドバイス ・医療機関受診のめやす ・受診科目のアドバイス ・症状の特徴 〔参考〕愛知県 女性の健康相談（電話相談） 毎週火曜日・木曜日・土曜日 13時30分～16時30分 (2) 広報・啓発 ・ポータルサイトで女性に限らず幅広い市民に対して女性の健康に関する広報・啓発を実施 ・医師監修のコラムや理学療法士によるセルフケア動画、管理栄養士によるレシピなどの情報を発信予定

3 愛称

女性を応援する健康相談窓口「なごエール」

4 委託先

株式会社メディカル・コンシェルジュ名古屋支社

5 事業開始

令和7年9月29日

備考

本件は本日、市政記者クラブへ資料提供します。

(健康部健康増進課 内線2637)

女性を応援する健康相談窓口

名古屋市

なごエール

ここにくればきっと見つかる
私のヒント!



肩こり 月経不順
貧血 不正出血 腰痛
更年期症状 冷え



毎日がんばる女性の心とからだに、そっとよりそう場所
肩こり・月経不調・更年期等の不安や悩みを保健・医療の
専門職と一緒にすこしずつほどこいていきませんか?
あなたの健康を大切にするお手伝いをします

ご相談はお気軽に

- ★ 保健・医療の専門職が対応
- ★ 忙しくても、いつでも相談できる
- ★ 匿名・無料だから安心して相談できる
※通話・通信料は利用者の負担となります

☎ 050-3665-2421 ☎ LINE

水曜日 19:00 ~ 23:00

日曜日 14:00 ~ 17:00



24時間
相談受付中

知ってほしい! 女性の健康

オンラインでは、男性・女性・幅広い世代に知ってほしい女性の健康問題や解決のヒントを発信中



ポータルサイト <https://nagoyell.jp/>

なごエール



事項	第7回名古屋まちなみデザインセレクション「まちなみデザイン賞」の選定について						
内容	名古屋まちなみデザインセレクションは、名古屋のまちの景観について誇りと愛着を育んでいただくことを目的に実施しており、この度、「まちなみデザイン賞」を選定しました。 選定物件を市民に知っていただくため、表彰式・シンポジウムなどを開催します。  1 まちなみデザイン賞 - 新たに「リノベーション部門」「ウォークアブル部門」を設け、「建築物・工作物部門」「サイン・屋外広告物・屋外看板部門」「まちづくり活動部門」とあわせた計5部門について、令和6年9月から11月まで募集し、86件の応募がありました。 - 有識者の意見を踏まえ、良好なまちなみの形成に貢献していると認められる建築物等11件を「まちなみデザイン賞」として選定しました。 2 表彰式・シンポジウム 日時 令和7年11月13日（木）13:00～16:30 場所 名古屋能楽堂 内容 「まちなみデザイン賞」の表彰 - シンポジウム「まち歩きと建築 そして名古屋の景観を考える」 講演「ひろがる建築祭」 倉方俊輔（大阪公立大学大学院 教授） パネルディスカッション 倉方俊輔 高井一（元東海テレビアナウンサー） 村上心（椙山女学園大学 教授） 令和7年10月14日（火）9:00 から参加者を募集します。 3 名古屋まちなみデザインセレクションパネル展 <table> <tr> <th>日 程</th><th>場 所</th></tr> <tr> <td>令和7年10月1日（水）～15日（水）</td><td>本庁舎地下1階 施策PRスペース</td></tr> <tr> <td>令和7年10月2日（木）～5日（日）</td><td>イオンモール Nagoya Noritake Garden 1階サウスコート（10:00～21:00）</td></tr> </table> 4 実施主 主 催 名古屋市 共 催 景観整備機構 公益財団法人名古屋まちづくり公社 協 力 愛知県広告美術業協同組合、一般社団法人愛知広告協会 一般社団法人日本建築学会東海支部、一般社団法人日本建築協会東海支部 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 公益社団法人愛知県建築士事務所協会、公益社団法人愛知建築士会	日 程	場 所	令和7年10月1日（水）～15日（水）	本庁舎地下1階 施策PRスペース	令和7年10月2日（木）～5日（日）	イオンモール Nagoya Noritake Garden 1階サウスコート（10:00～21:00）
日 程	場 所						
令和7年10月1日（水）～15日（水）	本庁舎地下1階 施策PRスペース						
令和7年10月2日（木）～5日（日）	イオンモール Nagoya Noritake Garden 1階サウスコート（10:00～21:00）						
備考	本件は、本日市政記者クラブへ資料提供します。						

表彰式 シンポジウム

参加
無料

令和7年

11/13 木 受付 12:30~13:00

名古屋能楽堂

名古屋市中区三の丸一丁目1-1 名古屋城正門前

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

▶ お申し込みはこちらから
10月14日(火)9時から受付開始



Program

13:00~14:45

表彰式・表彰物件の講評

15:00~16:30

シンポジウム「まち歩きと建築 そして名古屋の景観を考える」

全国に建築祭や建築ツアーが広がっています。普段見られない建物などが、その期間に限り公開されます。名古屋でも、建築に関連するイベントが開催されていますが、このたび、大学生が主体となり「なごや建築まつり2025」が開催されます。

なごや建築まつりを通じて、名古屋のまちを歩いて楽しみ、名古屋のまちの景観に関心を持っていただけるよう「まち歩きと建築 そして名古屋の景観を考える」をテーマにシンポジウムを開催します。



15:00~15:30

講演「ひろがる建築祭」

講師：倉方俊輔氏



倉方俊輔

大阪公立大学大学院工学研究科教授 博士(工学) / 建築史家/東京建築祭実行委員長/京都モダン建築祭実行委員/イケフェス大阪実行委員



高井 一

TOKAI RADIO「ONE STYLE」DJ/東海テレビ「スイッチ!」コメンテーター/名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会委員

15:30~16:30

パネルディスカッション

パネリスト：倉方俊輔氏、高井 一氏、村上 心氏



村上 心

椋山女学園大学生活科学部生活科学研究科教授 博士(工学)/建築計画/名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会座長/なごや建築まつり実行委員長



名古屋市

第7回「まちなみデザイン賞」受賞物件



たけなか外科内科こどもクリニック

撮影: ToLoLo studio

徳川町にある
東海メディカルプロダクツ ゲストハウス



撮影: 萩原ヤスオ



名古屋市国際展示場
第1展示館 及び コンベンションセンター



撮影: ToLoLo studio

ant.



撮影: 鈴木淳平

GOOD CYCLE BUILDING 001
浅沼組名古屋支店改修PJ



撮影: 高橋直哉

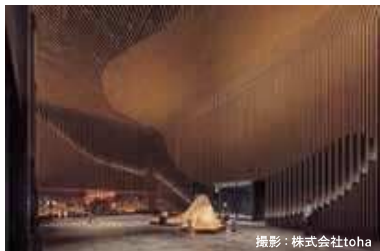
笠覆寺(笠寺観音)



撮影: ToLoLo studio

KUBO-BLDG

第2名古屋三交ビル



撮影: 株式会社toha



撮影: ToLoLo studio

コウノミBASE



2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK



あつたnagAya

申込方法

10月14日(火)9時から受付を開始します。URL又は二次元コードからお申し込みください。

<https://forms.gle/NZyRjQdL8XTBTLgd9>

- ・手話通訳・要約筆記・車椅子席が必要な方は、10月31日(金)までにお申し込みください。
- ・電話・FAXによるお申し込みは、10月31日(金)17時15分まで(土日祝を除く8時45分から17時15分まで)
- ・申込時の個人情報は、本事業以外に一切使用いたしません。



申込方法等の問合せ先

名古屋市住宅都市局ウォカブル・景観推進課 TEL:052-972-2732 FAX:052-972-4485

主催: 名古屋市(住宅都市局都市計画部ウォカブル・景観推進課)

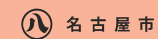
共催: 景観整備機構 公益財団法人 名古屋まちづくり公社、なごや建築まつり実行委員会(事務局: 相山女学園大学生生活環境デザイン学科)

第7回

まちなみデザイン賞

選集

<主催>
名古屋市（住宅都市局都市計画部ウォークابل・景観推進課）
電話：（052）972-2732
電子メール：machinami@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp
<共催>
景観整備機構 公益財団法人 名古屋まちづくり公社
<協力>（50音順）
愛知県広告美術業協同組合
一般社団法人 愛知広告協会
一般社団法人 日本建築学会 東海支部
一般社団法人 日本建築協会 東海支部
公益財団法人 名古屋観光コンベンションビューロー
公益社団法人 愛知県建築士事務所協会
公益社団法人 愛知建築士会
<発行>
令和7年9月



目次

概要	2
挨拶	3
第7回まちなみデザイン賞受賞物件	
たけな外科内科こどもクリニック	5
徳川町にある 東海メディカルプロダクツ ゲストハウス	6
名古屋市国際展示場 第1展示館 及び コンベンションセンター	7
ant.	8
GOOD CYCLE BUILDING 001 浅沼組名古屋支店改修PJ	9
笠覆寺（笠寺観音）	10
KUBO-BLDG	11
第2名古屋三交ビル	12
あつたnagAya	13
コウノミ BASE	14
2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK	15
まちなみデザイン賞 トロフィー	16
まちなみデザイン賞 位置図	17
まちなみデザイン賞 受賞物件（第1回～第6回）	19
コラム	20

名古屋まちなみデザインセレクションとは

名古屋まちなみデザインセレクションは、市民の皆さまに名古屋のまちの景観について誇りと愛着を持っていただくことを目的に、平成24年度から実施し、良好なまちなみの形成に寄与していると認められる建築物等を「まちなみデザイン賞」として市長が表彰しています。

第7回は、新たにリノベーション部門、ウォークアブル部門の2部門を加え、建築物・工作物部門、サイン・屋外広告物・屋外看板部門、まちづくり活動部門の5部門について、物件やまちづくり活動を募集し、応募物件等の中から、有識者の意見を踏まえて市長が選定しました。

〈応募期間〉

令和6年9月2日(月)から11月29日(金)まで

〈応募数〉

86件

建築物・工作物部門 30件 / リノベーション部門 14件 / ウォークアブル部門 15件
サイン・屋外広告物・屋外看板部門 18件 / まちづくり活動部門 9件

〈表彰式〉

令和7年11月13日(木)13時から 会場：名古屋能楽堂

〈名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会委員〉（50音順、敬称略）

佐藤 直木	愛知県立芸術大学美術学部 教授（グラフィックデザイン）
高井 一	元東海テレビアナウンサー（文化・ウォーカー）
武田 美恵	愛知工業大学工学部建築学科 教授（建築）
出村 嘉史	岐阜大学社会システム経営学環 教授（土木・ランドスケープ・都市形成）
松浦 健治郎	千葉大学大学院工学研究院建築学コース 准教授（都市計画・ウォークアブル）
村上 心	桐山女学園大学生生活科学部生活環境デザイン学科 教授（建築）

名古屋まちなみデザインセレクション シンボルマーク

名古屋市の市章「八」をモチーフに、八角形のデザインとすることで名古屋らしさの新たな表現としています。名古屋のまちへの誇りと愛着のシンボルとして長く愛されるようなタイムレスなマークをデザインしました。





名古屋市長
広沢 一郎

第7回名古屋まちなみデザインセレクションによせて

リニア中央新幹線の開通後を見据え、名古屋の未来につながるまちづくりを積極的かつ戦略的に展開することで、大都市・名古屋の魅力をさらに高め、人々を惹きつけられる都市力を強化していくことが重要です。そのため、都心部や地域拠点のまちづくりを進めていく際には、地域の方々や民間企業の皆様の自発的な創意工夫によるまちの魅力やにぎわいを生み出す取組みをしっかりと応援し、居心地が良く「もう少し先まで歩いてみたい」と思えるような、ウォーカブルなまちづくりを進める必要があります。

本市では、令和6年3月にその方針を示した「Nagoyaまちなかウォーカブル戦略」を策定しました。本戦略では、名古屋の強みである豊かな公共空間や民有地を公民が連携して活用することにより、人々の出会いや交流を生み出すことや、既存建築物の低層部を地域の賑わいに寄与する場に改修することによりまちの価値を高めることを目指しています。

これらウォーカブルに資する積極的な取組みを波及させるために、まちなみデザイン賞では「リノベーション部門」と「ウォーカブル部門」を新設し、セットバックや低層部の解放がすばらしく、新しいまちづくりの核となる物件が評価されました。

今回は、延べ86件もの多くのご応募をいただき、市民や事業者の皆様による景観形成への積極的な姿勢を拝見することができました。選考にご尽力いただいた委員の皆様、ご協力いただいた関係団体の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後も、市民の皆様が名古屋のまちの景観について誇りと愛着を持っていたいただけるようなまちづくりを推進してまいります。



有識者懇談会 座長
村上 心

まちなみデザイン賞 座長総評 一時間のデザイナー

建築や都市空間を考える際には、「時間のデザイン」を意識することが重要です。建築や都市空間は、人や社会とともに変化し、記憶され、再生されていくものです。これらは単なる物理的な構造ではなく、地域の個性や資源を文化的・社会的価値として捉えることで、長期的に持続可能な「まち」としての姿を築いていきます。

今回、受賞した11件は、名古屋の「時間のデザイン」に寄与する優れたものです。地域の歴史や文脈に寄り添いながら、新たな価値を生み出したもの、地域の資源を見事に再生（リノベーション）したもの、そして回遊性や賑わいを創出し、まちとまち、人とまち、人と人のつながりを生み、ウォーカブルなまちづくりに貢献したものです。

また、大規模なものから小規模なものまで、さらには、単体としての貢献にとどまらず、地域への波及効果をもたらすものなど、さまざまな視点と手法による優れた取り組みがみられました。その結果として、受賞物件の建築行為の規模や範囲が多様であることを、市民の皆さまにも感じていただけることでしょう。

惜しくも受賞には至らなかった物件も、名古屋の景観形成への意欲的な貢献が認められました。このような官民の取り組みが、今後も広く、そして継続的に行われることで、名古屋のまちなみや景観が、市民の皆さまにとって誇れる存在となることを願っています。

たけなか外科内科こどもクリニック

所有者 医療法人 藍峰会
設計者 TSCアーキテツク 代表 田中 義彰
完成時期 2019年1月
概要 診療所：地上2階、鉄骨
所在地 北区金城町



1,2,3 撮影者：ToLoLo studio

講評

1950年代頃から市街化され、店舗・工場・住宅等が混在する北区金城町のまちかに建つクリニックである。まちかどに対して全面ガラス貼りのファサードと木製の大きな庇が特徴的である。このデザインはL字状の2層の待合スペースを交差点沿いに設けたことにより可能になったものである。交差点近くの足下に木製ベンチが設置されているなど、街の縁側のような佇まいが随所に見られ、まちなみデザインとして秀逸である。

松浦 健治郎

徳川町にある

東海メディカルプロダクツ ゲストハウス

所有者 筒井 宣政
設計者 株式会社 宇野友明建築事務所
完成時期 2021年9月
概要 主屋：地上2階、木造※1 屋敷門：地上2階、木造
所在地 東区徳川町



1 撮影者：萩原 ヤスオ

講評

重厚感のある一枚板で構築された堂々たる木組みの門と、伝統的な日本家屋の慎ましやかな様式が色濃く残された中央の主屋との対比が目を引きゲストハウスは、歴史・文化の残る徳川町のイメージに添いながら、全く新しい景観を生み出している意欲的な木造建築物となっている。今後長い年月をかけて木材が経年変化して行くにつれて、この建築はいよいよその価値と美しさを増していくだろう。

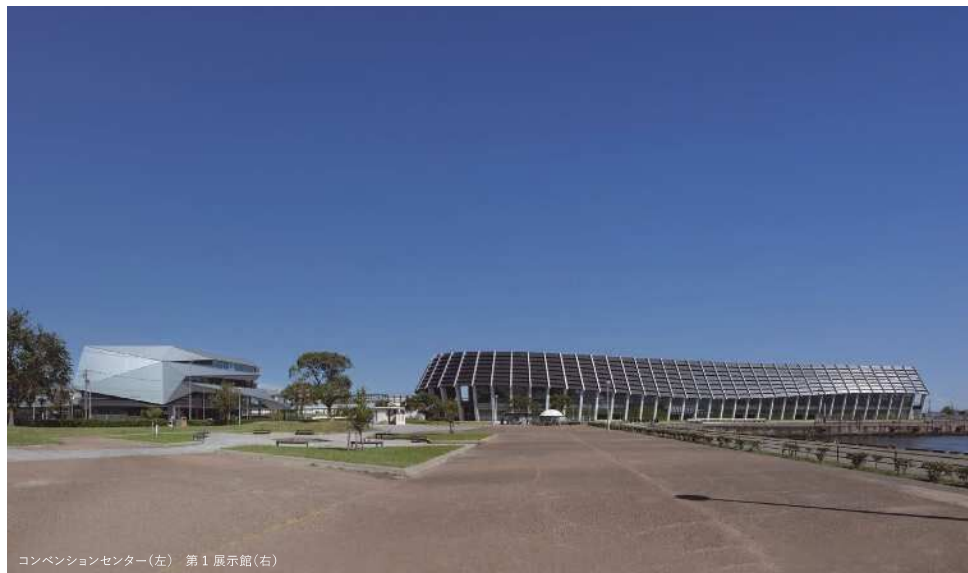
佐藤 直木

※1 主屋は、所有者の父親が昭和21年に建築し、所有者が父親の思いとともに継承し守り続けている。
戦前、宮内庁が御用邸を建築する目的で木曽地方等の御料林から集めていた木材を、戦況悪化から御用邸の建築は見送られ、所有者の父親がその一部を取得、市内の空襲に逃れたものであると伝えられている。

名古屋市国際展示場

第1展示館 及び コンベンションセンター

所有者	名古屋市	コンベンションセンター
設計者	第1展示館 久米・竹中設計共同体	竹中・久米共同企業体
完成時期	2022年6月	2022年8月
概要	展示場：地上3階、鉄骨造	集会場・飲食店：地上5階、鉄骨造
所在地	港区金城ふ頭三丁目	港区金城ふ頭二丁目



コンベンションセンター(左) 第1展示館(右)



コンベンションセンター



第1展示館

講評

無機的な雰囲気金城ふ頭にあって、〈第1展示館〉は柔らかな曲線が暖かみを発散している。海に面して優美な曲面を描くコンコース側は、巨大な建物なのに波の揺らぎが見えるよう。港のガントリークレーンはまさに借景。向かい合う〈コンベンションセンター〉は鋭角な多面体で、誰もがクルーザーを連想する。〈第1展示館〉の波間にデッキを介して係留されているようだ。この対照的な空間にどんな賑わいが生まれるか楽しみだ。

高井 一

ant.

所有者	大脇 篤史
設計者	株式会社 S.A.S.archi
完成時期	2022年3月
概要	店舗：地上2階、木造
所在地	西区幅下一丁目



1,2,3,4 撮影者：ToLoLo studio



講評

ささやかなかわいい建物が、堀川の護岸に溶け込むように建っている。ヘアサロン空間をどう作るのは私的问题ではあるが、オーナーとデザイナーが一緒になって、一つの空間に興味のセンスを編み込むことを楽しんだことが、建物に入ると一見して伝わってくる。そしてそれは外へ開いている。堀川と一体化するような気持ちの良いテラスで楽しむ姿は、橋や対岸までも楽し気にしてくれる。こうやって水辺のまちなみができていくといい。

出村 嘉史

GOOD CYCLE BUILDING 001

浅沼組名古屋支店改修PJ

所有者 株式会社 浅沼組
 設計者 株式会社 川島範久建築設計事務所＋株式会社 浅沼組
 完成時期 2021年9月
 概要 事務所：地上8階地下1階、鉄骨造
 所在地 中村区名駅南三丁目



1,2,3,4 撮影者：鈴木 淳平

講評

スクラップ&ビルドという従来の都市計画の在り方から脱却しようとしたこと、追加材料を土や木などの自然素材としたこと、自然素材と人工素材とを分離可能なように設計することでいずれ「土に還る建築」を目指したこと、そしてそれらの試みが美しい造形として達成されていること、全てに拍手を送る。吉野杉の列柱、土壁のプランター、緑豊かな植栽、セットバックされた正面ファサード等々によって、地域の景観形成に資する独自性豊かなビルとなった。

佐藤 直木

笠覆寺（笠寺観音）

所有者 笠覆寺
 設計者 零三工作室、堀内建築研究所
 完成時期 2022年8月
 概要 寺院：地上2階地下1階、鉄骨造一部RC造（既存本堂：地上1階、木造）
 所在地 南区笠寺町



1,2,4 撮影者：高橋 直哉 3 撮影者：吉川 政春

講評

お寺のリノベーション。現地を視て得心した。本堂を耐震化。そして本堂へのスロープにあった段差を解消して、完全バリアフリーに。安全、スムーズなお参りが可能になった。新しい護摩堂と信徒会館も、境内と調和している。ここは節分をはじめ、「六の市」や「マルシェ」で定期的に賑わうところ。リノベーションですっきりした境内は、より快適な市民の集いの場になりそうだ。

高井 一

KUBO-BLDG

所有者 株式会社 ライフプランニング
 設計者 株式会社 シーラカンサンドアソシエイツ
 完成時期 2024年6月
 概要 店舗：地上4階、鉄筋コンクリート造
 所在地 中区栄三丁目



1,2,3,4 撮影者：ToLoLo studio

講評

同じサイズ感のRC建築が並ぶうちの1棟の改修である。左右に並ぶ明度を抑えたファサードに対して、明るい色調を選択しているが、RC柱梁フレームの努めてシンプルな素材感と、抑えめの鮮やかさをまとった非対称オーバルが、周囲にリズムを与えた。さらに、このフレームが建築内外の緩衝空間として働き、閉鎖性が払拭されている。耐震のために付加せざるを得ない要素を、前向きなコンテキストへ読み替えるデザインが功を奏している。

出村 嘉史

第2名古屋三交ビル

所有者 三交不動産株式会社
 設計者 株式会社 竹中工務店名古屋支店
 完成時期 2024年2月
 概要 事務所・店舗：地上14階地下1階、鉄骨造
 所在地 中村区名駅三丁目



1,2,3 撮影者：株式会社 toha 4 撮影者：株式会社 エスエス

講評

屋外の公開空地である敷地内歩道に配した高木が歩行者に涼やかな木陰を創り出すとともに、屋内にも屋内型公開空地として「MUQUA(ムクア)」と名付けられた滞在空間が設けられている。見学した際も木製のモニュメントベンチに腰掛けてくつろぐ女性たちや、テーブル席で仕事するワーカーがいた。名駅三丁目のまちづくりの一環として開催されるイベントによって市民のコミュニティの場となり、名古屋駅から続く道の整備によって歩いて楽しい街が実現するに違いない。

武田 美恵

サイン・屋外広告物・屋外看板部門

あつたnagAya

所有者 名古屋鉄道株式会社
設計者 エイトデザイン株式会社
デザイン 株式会社 Tailors
完成時期 2024年12月
所在地 熱田区神宮三丁目

あつた
nagAya



講評

<あつたnagAya>のロゴマークの“A”をあえて大文字にしており、軒を連ねる長屋づくりの屋根形状を表現している。また、熱田神宮の森を有する緑豊かなエリアであることを、伝統・文化をイメージした深さや温かみを感じられる暗緑色によって表現している。空間としても、神宮前駅との連続性を考慮した木材架構と“A”の形をした屋根だけのつなぎ空間が開放的で風通しのよい休憩場所になっており、貯木場のあった熱田の歴史を愛知県産材の使用によって見事に表現していた。

武田 美恵

サイン・屋外広告物・屋外看板部門

コウノミ BASE

所有者 合資会社 ミート
デザイン 合資会社 ミート
完成時期 2019年7月
所在地 西区香香町



撮影者：ToLoLo studio

講評

DIY可能なアパート。大家も加わり住人の交流も盛ん……落語の長屋のような日常が目に見える。そんなアパートの壁面には、★余分なものはいらない！ ★暮らしにアートを！ ★笑顔と食を大切に！ 昼間でも目を惹くのに、夜はライトアップしてさらに存在感を増す。アパートの住人だけでなく、ここを通る町内の人にも「暮らし方」の基本をアピールしていた。

高井 一



2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK

活動団体	2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK
概要	小冊子“AKIYA LOOK BOOK”を起点に、個性的な人々が市場や長屋を再生し、“金城夜市”等の催しが、人と人のつながりを生み出している。
活動エリア	北区清水 他
活動拠点	金城市場



講評

北区清水・大杉エリアに眠る空き家・空き店舗の魅力と可能性を発掘し、地域資源として可視化した<2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK>は、専門家と住民が協働し、調査から冊子制作、利活用提案まで一貫して行った点が高く評価される。<2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK>で紹介されている金城市場を訪れたところ、最低限の改修を施すことで市場本来の大空間が再生されており、新たな利用法の可能性を大いに感じさせてくれた。

松浦 健治郎



撮影者：rakuda

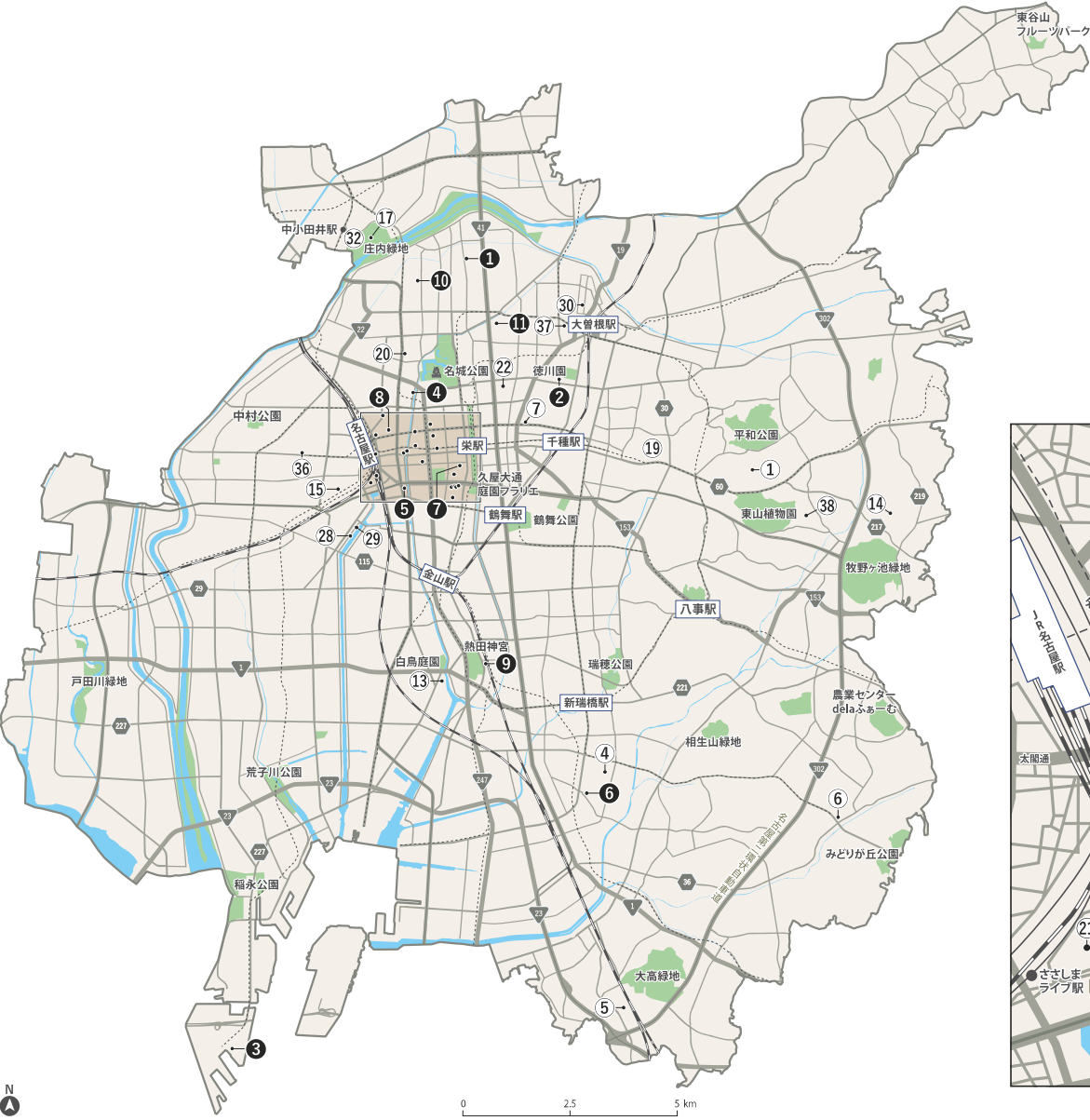
まちなみデザイン賞 トロフィー

名古屋市長の表彰するまちなみデザイン賞にふさわしいトロフィーとすべく、名古屋市の伝統工芸技術を活かしたいと考えました。「箔蒔」と呼ばれる漆塗の技法を用いて全面に施された金箔の輝きがまちなみデザイン賞の受賞を讃えます。このトロフィーを目にするたび、これからも名古屋市の都市景観について想いを寄せていただけたら幸いです。

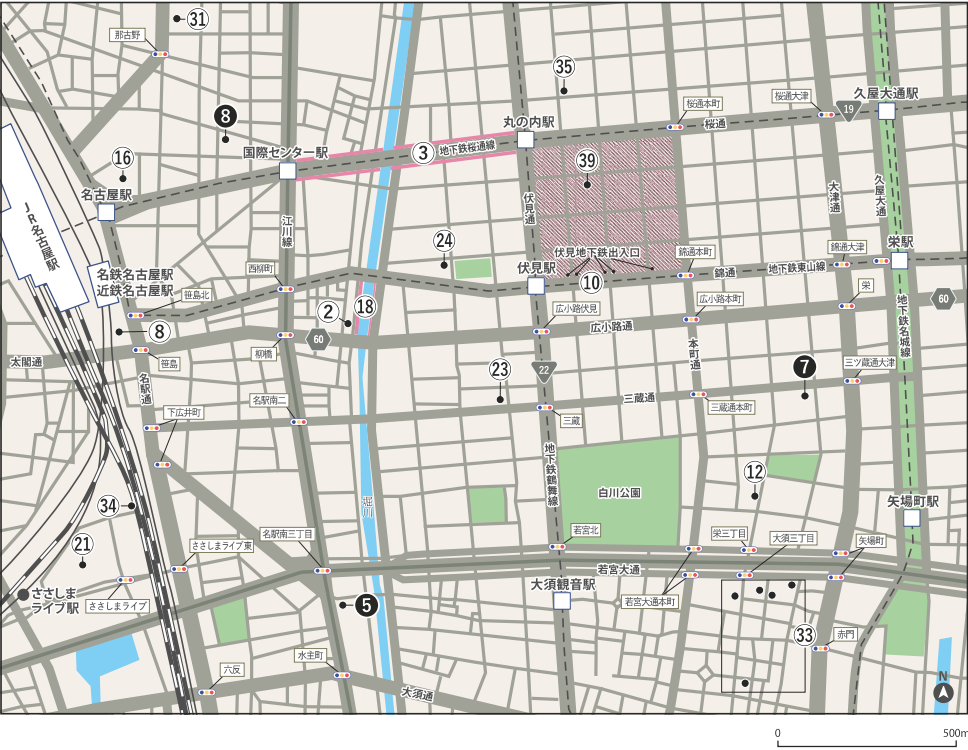
デザイン：愛知県立芸術大学准教授 望月 未来

製作：株式会社 大黒屋仏壇店

まちなみデザイン賞 位置図



- ① たけな外科内科こどもクリニック
 - ② 徳川町にある 東海メディカルプロダクツ ゲストハウス
 - ③ 名古屋市国際展示場 第1展示館 及び コンベンションセンター
 - ④ ant.
 - ⑤ GOOD CYCLE BUILDING 001 浅沼組名古屋支店改修PJ
 - ⑥ 笠覆寺（笠寺観音）
 - ⑦ KUBO-BLDG
 - ⑧ 第2名古屋三交ビル
 - ⑨ あつたnagAya
 - ⑩ コウノミBASE
 - ⑪ 2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK
- ① から ③⑨ の物件名は、P19に記載しています。



まちなみデザイン賞 受賞物件（第1回～第6回）

第1回 (2013年)	① 東山の森「里山の家」と「くらしの森」 ② 納屋橋 CUBES ③ 桜通のイチョウ並木 ④ 村上社のクスノキ ⑤ 総合病院 南生協病院 ⑥ ヒルズウォーク徳重ガーデンズ、交通広場・テラス広場及びユメリア徳重
第2回 (2015年)	⑦ 太洋ビル ⑧ ナナちゃん人形 ⑨ 公共空間の活用を通じたまちづくり社会実験 ⑩ 伏見地下街出入口・長者町ブループリント ⑪ 旧南大津通三丁目の小路 ⑫ BLUE BLUE NAGOYAの建物の緑化 ⑬ 愛知時計電機株式会社 新事務棟
第3回 (2017年)	⑭ 高針の丘にある蓮教寺 ⑮ 米野ふれあいサロン「なかよし」－ 寛家住宅 ⑯ 大名古屋ビルヂング ⑰ 緑豊かな庄内緑地の朝 ⑱ 堀川散歩 錦橋から納屋橋 ⑲ 個性的なお祭りやお店で活気づく覚王山
第4回 (2019年)	⑳ LT城西2 ㉑ グローバルゲート ㉒ 料亭か茂免の白壁 ㉓ 印傳屋名古屋御園店のサイン ㉔ ランプライトボックスホテル名古屋のサイン ㉕ SOCIAL TOWER PROJECT ㉖ 名古屋折り紙建築 ㉗ 街茶 MACHI-CHA
第5回 (2021年)	㉘ 中川運河にぎわいゾーンの建築物群 パーミキュラ ビレッジ ㉙ 中川運河にぎわいゾーンの建築物群 岡谷銅機株式会社 中川配送センター ㉚ ソーネÔZONEのサイン ㉛ なごのキャンパス ㉜ 中小田井を「発見して、学んで、伝えよう」
第6回 (2023年)	㉝ 大須の一連のテナント・オフィス HASE-BLDG. ㉞ ささしま高架下オフィス ㉟ タマディック名古屋ビル ㊱ みんなで駄菓子屋(仮) ㊲ 大曽根外科・整形外科のサイン ㊳ ニシヤマイパシヨラボ ㊴ 錦二丁目まちづくり協議会

コラム

空間の再生(リノベーション)

ハロルド・ブルームという米国の文学者がいます。彼は、詩人の創作は常に先駆者の詩に影響されており、詩という存在は影響の不安そのものである、と主張するのです。彼は又、詩人を「ストロング」な詩人と「ウィーク」な詩人に分類します。「ストロング」な詩人とは、先駆者の影響の不安を克服して新しいイメージや概念を提示している者達を指しています。従ってブルームにとっては、「有名な」詩人が必ずしもストロングな詩人であるとは限りません。

「再生(リノベーション)」という建築行為をブルームの枠組を借用して考えてみましょう。建築家達は常に影響の不安に脅えているとすると、彼らはどうやってストロングな建築家たろうと行動するでしょうか。先駆者達のスタイルの呪縛から解放されたい、と考える建築家たちは、周辺に先駆者達の足跡である既存の建築物がない更地に自分のオリジナリティを存分に発揮したデザインを施すのが楽だと考えるかもしれません。しかしながら、「残念」なことに、稀にある「幸運な」プロジェクトを除けば、建築家は常に周辺の街並み或いは歴史の読み取りを要求されます。又、「幸運」にも敷地として全くの更地を与えられたとしても、地球が創り上げた自然環境の考慮が求められます。万が一、以上のような環境の読み取りを省略したとしても、先人の建築作品や技術の影響は確実に建築家を覆っています。即ち、建築行為とは、地球自身を含めた先駆者達の足跡の読み取りと共に存在しているものなのです。この足跡が最も具体的に表出する建築行為が「再生」であると言えるでしょう。つい最近まで、我が国での再生に対する業績評価は決して高いものではありませんでした。モニュメンタルでスペシャルな新築のデザインこそが「優れた」建築であるとされてきたのです。対して欧米では、再生という建築行為も新築と同等に、或いはそれ以上に評価されています。再生でオリジナリティを発揮するという成功こそが、ストロングな建築家であるという証明なのです。

勿論、都市は、新築/再生の両者が混在して成立するものです。今回から、「名古屋まちなみセレクション」にリノベーション部門が加わったことは、この対等な混在を積極的に評価しようというもので、呼び掛けに応じて多くの優れた御応募を頂きました。再生行為による優れたまちなみの継承と生成の為に、リノベーション部門の大きい役割が期待されます。

村上 心

⑨ ⑪ ⑮ ⑯ ⑰ は、P17位置図に掲載しておりません。
第1、2回は、「まちなみデザイン貢献賞」
受賞物件の位置や概要は、市公式ウェブサイトをご覧ください。



コラム

歩きたくなる名古屋へ～“もう一歩先”を生み出すウォークアブル空間の力

今年度のまちなみデザイン賞では、令和6年3月に策定された『Nagoyaまちなかウォークアブル戦略』を踏まえて、歩行者が「もう一歩先へ」と感じられるようなウォークアブルな空間づくりを重視しました。今回、ウォークアブル部門で選定された第2名古屋三交ビルでは屋内外に配された有機的な形状のベンチが印象的で、大きな開口部を持つ屋内型公開空地では仕事や休憩など多様なアクティビティを確認できました。受賞作品以外でも、都心の公開空地や民有オープンスペースに生まれたテーブル・椅子・パラソルのあるテラス、定期的に開かれるマルシェやキッチンカーのイベントは、単なる通過点だった道を、人と人が交わるサードプレイスへと変えつつあります。こうした試みは、デザインが形や色彩の美しさに留まらず、使われ、愛され、時間とともに成熟するプロセスそのものに価値があることを示しています。受賞を契機として、市民が主体となった歩きたくなる名古屋の風景づくりがさらに広がることを期待します。

松浦 健治郎



コラム

公共が担うデザイン

この度、地下鉄千種駅の出入り口がノミネートされていたことは、意義深かったと思います。対象は、特に興味を持たれることも少ないのですが、本来、歩く動線の要となるべき構造物です。こうした構造物が、まちなみの中で気持ちのよい空間を提供しているかどうかは、もっと留意されてよいと思います。ところが、施設整備の現場において、機能確保、安全性、経済性(極力お金をかけないという意味で)が支配的な価値観であることが多く、快適さ、楽しさ、文化性を求めて自ら企画し、管轄を跨いで調整を繰り返して実現することは、必要以上に労力のいる仕事になってしまっています。そのような中、今回は、駅改修の機会に乗じて、担当周囲でまちなみの風景を創ろうと大変な努力をされたことが想像できます。惜しくも受賞対象にはならなかったものの、こうしたデザインのブラッシュアップが、逆風の中でなく、市民の期待の中でされていくことを切に願います。

出村 嘉史

